

## Docu-SE<sup>®</sup>

# 設計計算書作成支援システム(Ver.5.2)

### 【特徴】

- ①本プログラムは、JRSEが開発したJRSNAPのオプションツールとして、バージョン1.1をベースに、機能の充実と性能の向上を図った改良を行ったものです<sup>※</sup>。
- ②JRSNAPの解析および照査結果を取り込み、設計成果になる各種の帳票を効率良く整理し、設計計算書の作成を支援することができます。設計実務の観点から、JRSNAPの結果を以下のように加工・処理し、部材断面力図および照査・検討ステップを反映した設計総括表の作成ができます。
  - ・コンクリート標準以外の設計基準類に準拠したRC部材のせん断耐力の算定と照査
  - ・地盤の不整形性の影響を考慮した応答値の算定と照査
  - ・杭の段落とし設定および杭の抵抗モーメント図の自動作成
- ③本支援システムは、「複数検討作業処理ツール（Batch）」と「詳細計算書作成ツール（Detail）」から構成されています。
- ④BatchはJRSNAPと連携してシンプルな入力で、複数ケースの応答値算定と照査を効率的に行えます。DetailはJRSNAPの各分散出力を整理し、一括で出力することができます。
- ⑤本支援システムは、JRSNAPのバージョン「Ver. 5.1-L03」以上が必要で、JRSNAPのバージョンアップに応じて更新します。

<sup>※</sup>[Docu-SE \(Ver. 5.2\) の改良に関する詳細は「Docu-SEの更新一覧」をご覧ください。](#)

### 【用途】

- ①「鉄道構造物等設計標準・同解説」に準拠した鉄道構造物を対象に、JRSNAPによる耐震設計作業に利用できます。
- ②JRSNAPによる複数検討作業に必要な重複する入力データを最小限に減らしたうえ、人工的に行うピックアップ作業を自動化することにより、効率性を大幅に向上します。
- ③構造形式は橋梁・高架橋（単純桁式・連続桁式・ラーメン式）のほか、任意の上部構造形式にも対応できます。基礎構造物は直接基礎および杭基礎形式に対応しています。

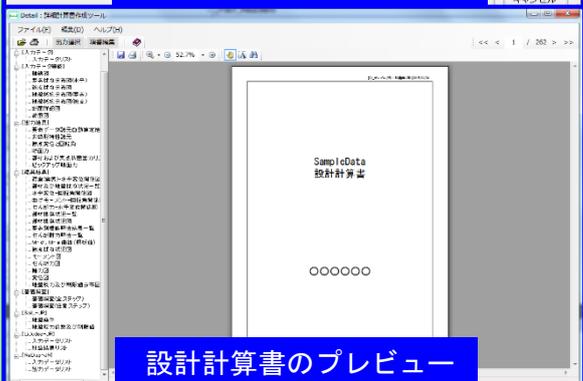
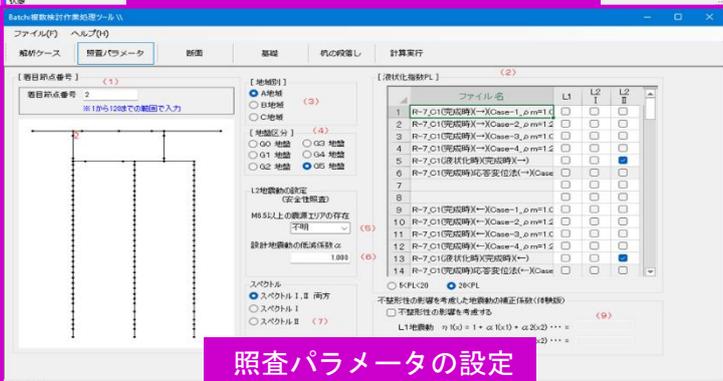
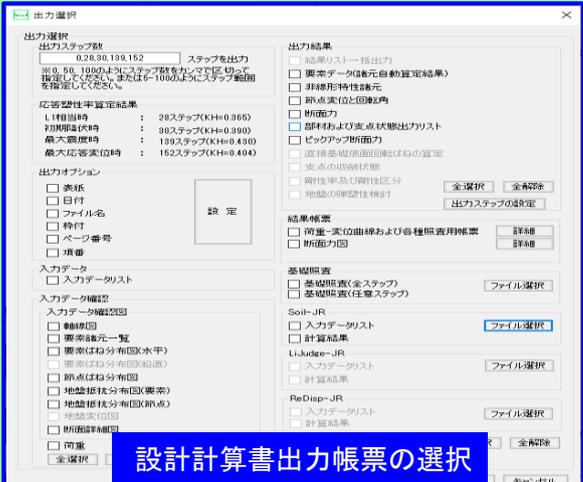
### 【動作環境】

- ①O S : Windows<sup>®</sup>10、Windows11<sup>®</sup>（タブレットモードを除く）
- ②C P U : 2 ギガヘルツ（GHz）以上のプロセッサ
- ③メモリー : 8 ギガバイト（GB）以上が望ましい
- ④プリンター : OSの動作環境に対応した機種
- ⑤その他 : インターネットへ接続できる事（ライセンス認証用）



複数検討  
結果を自動的  
に比較・抽出

各種帳票  
と図化を一括  
で編集・出力



●開発・発行：(株)ジェイアール総研エンジニアリング(JRSE)

連絡先：(株)ジェイアール総研エンジニアリング(ソフト販売窓口)

〒186-0002 東京都国立市東 1-4-13 COI 国立ビル

TEL 042-575-3821

E-mail [support\\_sale@jrseg.co.jp](mailto:support_sale@jrseg.co.jp)

URL <https://www.jrseg.co.jp/>